

## いただいた主なご意見

- 新規気象ビジネス創出 WG は、そろそろ企業やコンテンツの実装など、実際のビジネスにつなげるところまで進めるような活動を期待する。
- 勉強会などで、生成 AI を使った取り組み、例えば ChatGPT にデータの一部を添付してのデータ加工プログラムの自動作成や、加工後データを添付しての分析なども取り入れるとよいと思う。
- 気象情報の幅広い活用にあたり、関連する研究情報の整理があるとよい。例として、科学的な情報が時系列的に広がっており、どこまで進展しているのか、論文やデータ、企業名などを含めた整理など、特定の領域においては、この情報を見れば現状が把握できるようなもの。
- 気象データの提供に関して、griv2 形式ではなく、少量でもすぐに利用できるデータフォーマットでの提供や、気象台のデータフォーマットを統一するなど、利用のハードルを下げる取り組みをご検討いただきたい。
- 気象データにセンサ設置を行いプラスワンのデータを付加して新たなビジネスが作れる取り組みがあれば参加してみたい。
- Python を使った実践的なデータ活用など大変有用な活動を展開されている。YouTube での公開などもしており素晴らしい活動だと思う。
- ビジネスにどうつなげるかお教え下さい。
- 気象データ分析チャレンジの活動が活発化しているが、アーカイブ受講ができる学習教材を充実させたり、気象データ分析関連の出版物を増やすなど、この分野を世の中に広める活動をどんどん進めてほしい。
- 関西でもイベントを開催してほしい。
- ビジネスフォーラムについては、コロナ禍前にあったような展示ブースを設けて、会員同士が自由に交流できる場を設けてほしい。会員以外にも参加を呼び掛けて、多くの人を募るような会にしてほしい。

- 気象データビジネス拡大に向けた業界横断的な取り組みに期待する。
- ビジネスとしての成果をもっとスピードアップして議論できる場になってほしい。

(以上)